

③ 教育・文化行政について

●島原半島内における県立高校の今後のあり方について

【質問】 近年、島原半島内の県立高校8校の入学者の状況については、人口減少、少子化による生徒数の減少や半島外の私立高校などへの進学により、平成30年度からは全ての学校で募集定員を満たしていない状況であります。高校の今後のあり方についてどの様を考えているのかお尋ねする。

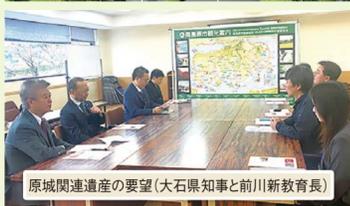
【答弁】 少子化の進行により、離島半島地域の県立高校では小規模化が進んでおり、学校を維持できなくなれば、引いてはその地域の活力の低下につながるのではないかと危惧しています。国においても「高等学校の在り方」について議論が行われており、その中で、高校を持続的な地方創生の核として位置づけ、地域資源を活用した県と市町との協働による魅力ある学校づくりについてもテーマとなっている。全国に先駆けて、今年度から、市・町と連携して、高校の魅力化と地域の活性化を一体となって進めていくこととしており、この取組の中で、人や産業など地域の資源を活用したその高校ならではの学びを推進することとしています。これからの10年後、15年後における島原半島内の高校のあり方を考えるとき、子供の数の減少に合わせて単にダウンサイジングするのではなく、時代や地域のニーズにあった高校の姿について地域の皆様と一緒に描いていきたい。



原城世界遺産センター完成予想図

●世界遺産センターへの支援について

【質問】 南島原市において、平成30年に原城世界遺産センターの整備を計画して以来、文化庁、県を交えた協議が始まり発掘調査、事業地周辺の調査、文化財に関する各種計画への事業計画の記載などの調査などを実施してきました。内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金の地方創生拠点整備タイプが長崎県下で初めて採択されたところ令和5年から7年の3か年の計画であり、地方創生の推進に資する事業として注目を集めています。令和8年度の世界遺産センターの開館に向け設計業務等を進め、地域の起爆剤と期待しており、人口減少等で地域の活力が低下していく中でコロナ禍の影響で落ち込んだ来訪者の回復や観光消費を拡大させる為にも早期の完成を望んでおります。今後のスケジュールを含めて、懸念される点などがないか、県の見解をお尋ねする。



原城関連遺産の要望(大石県知事と前川新教育長)

【答弁】 世界遺産条約履行のための作業指針に基づき、構成資産周囲の開発行為については遺産影響評価を実施する必要がある。原城跡世界遺産センターについては、地元南島原市が遺産影響評価委員会を開催するなど進めているところであり、県も参画しています。遺産影響評価結果のユネスコ提出は、国(文化庁)が判断するところであり、もしユネスコへ提出することとなった場合には、懸念のとおりスケジュールに遅れが生じる可能性があるため、県としても最大限協力したいと考えております。

令和5年度11月補正予算

I. 補正予算の規模

一般会計 **19億1,000万円**

II. 補正予算の主な事業

1. 肉用子牛価格下落に対する緊急支援 1億1,000万円 2. その他(石木ダム関係の新基金設立経費、職員給与費の改定など)

令和5年度11月補正(追加)予算

I. 補正予算の規模

一般会計 **455億円**

II. 補正予算の主な事業

1. 国の補正予算への対応

(1) 重点支援地方交付金を活用した物価高対策 44億円

- 【生活者支援】
- 一般消費者のL P ガス価格高騰対策…………… 6億1,600万円
- 【事業者支援】
- ①医療機関、介護・障害者施設等支援
 - 医療機関及び高齢者施設等の食料費高騰分への支援… 4億6,200万円
 - ②農林水産業支援
 - 漁業燃料価格セーフティネット加入・継続支援…………… 2億 900万円
 - 養殖用配合飼料セーフティネット加入・継続支援…………… 2億3,200万円
 - 県産水産物販売促進キャンペーン…………… 2億2,000万円
 - 燃油・肥料コスト低減設備等の導入への支援…………… 1億2,000万円
 - 肉用子牛価格下落に対する緊急支援…………… 6,000万円
 - 畜産農家の経営改善を支援…………… 7,000万円
 - 配合飼料価格安定制度の生産者積立金への支援…………… 9,500万円
 - 長崎和牛の販売促進キャンペーン…………… 5,200万円

- ③中小企業等支援
 - 事業者のL P ガス価格高騰対策…………… 1億 200万円
 - 特別高圧の電気代高騰対策…………… 3億6,000万円
 - 製造事業者の生産設備導入への支援…………… 6億円
 - 中小企業のデジタル力向上を支援…………… 2億5,900万円
 - 中小企業の事業継続・再構築をサポート…………… 3,000万円
 - 中小企業の事業承継を支援…………… 1,100万円
 - ④公共交通・運輸物流支援
 - 公共交通事業継続への支援…………… 5億5,500万円
 - 貨物運送事業継続への支援…………… 3億6,800万円
- (2) 国庫補助事業の内示等に伴うもの 409億円
- 公共事業費の増額…………… 370億4,800万円
 - 国庫特種負担金の増額…………… 11億9,300万円
 - 赤潮対策緊急支援事業…………… 6,500万円

2. その他緊急を要する経費

- ひょう被害対策…………… 5,200万円



みそ五郎祭り開会式



雲仙災害復旧工事現場概要説明



島原半島南部地域高規格道路建設促進期成会



南島原食生活改善推進協議会視察



長崎県議会議員

中村一三事務所

〒859-2414 長崎県南島原市南有馬町丁170番地
TEL.0957-85-2148 FAX.0957-85-3348

陳情・要望等のご相談は中村一三事務所(TEL0957-85-2148) 又は、携帯(090-3322-8894)へお気軽にお問い合わせください。

中村いちぞう

検索



<https://nakamura13.com/>

長崎県議会議員

なかむら いちぞう

2024年(令和6年) vol.05

中村一三 県政だより

皆様の声を県政に!!



ごあいさつ

新年おめでとう御座います。皆様に於かれましては、令和6年の輝かしい新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。今後も皆様方の声を県政に届けてまいりますので、変わらずのご支援いただきますようお願い申し上げます。さて、昨年度は新型コロナウイルス感染症については季節性インフルエンザと同じ5類感染症に変更され、コロナ禍からの経済回復が顕著に表れ社会経済活動の正常化が進みつつあります、一方で円安等によるエネルギー、物価高騰などにより本県の経済は県民生活に様々な影響が生じている状況であります。私も昨年の9月議会においてそうした課題、南島原の問題点を県のほうに質問しましたのでご一読願えればとおもいます。本年も皆様方にとって幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。



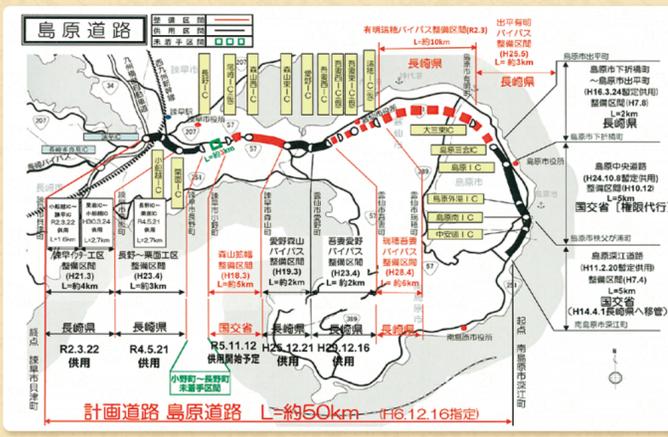
- 【経歴】
- 平成9年 南有馬町議会議員当選45歳(3期)
 - 平成18年 南島原市議会議員当選(4期) 初代監査委員就任
 - 平成22年 南島原市議会副議長就任
 - 平成26年 南島原市議会議長就任
 - 令和元年 長崎県議会議員初当選
 - 令和3年 観光生活建設委員会委員長
 - 令和4年 観光・IR・新幹線対策特別委員会委員長
 - 令和4年 有明海自動車航送船組合議員
 - 令和5年 長崎県議会議員2期目当選

- 【現在】
- 長崎県議会総務委員会副委員長
 - 長崎県日中友好議員連盟監査
 - 長崎県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟幹事
 - 自由民主党組織委員副会長

【趣味】 詩吟朗詠錦城流師範・謡曲宝生流教授嘱託



令和5年9月本会議場一般質問



令和4年5月に開通した長野～栗原工区の長野IC